

小児感染症の第37週(平成24年9月10日から平成24年9月16日)の集計結果

コメント

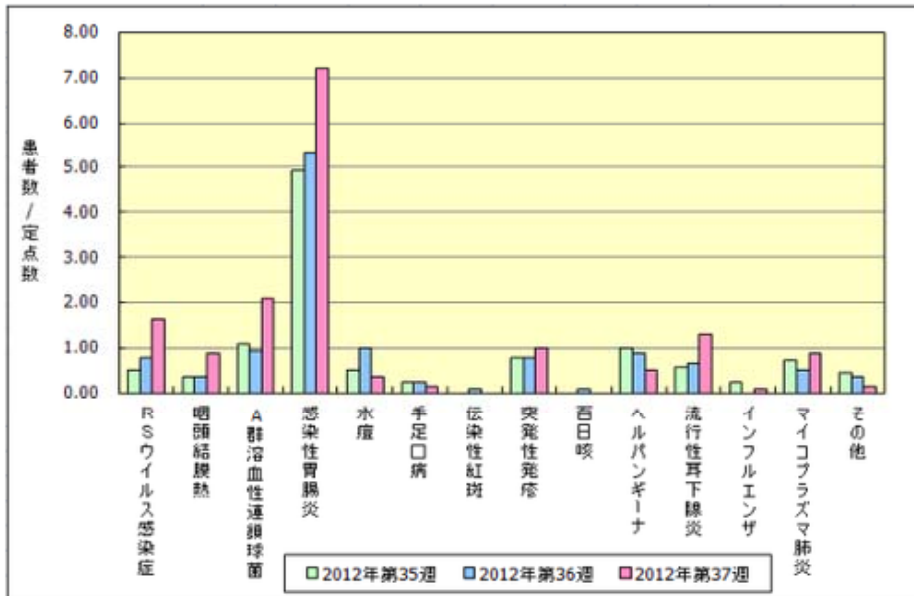
【今週の傾向】

○RSウイルス感染症が、定点あたり1.6と先週に比べ倍増しました。

9月13日付けで、東京都からも本疾患が急増しているという発表がありました。

かぜに似た症状ですが、感染力が強く、乳児等では重症化する恐れもあります。

手洗いの励行や体調不良時には無理をさせないようにしましょう。



第37週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年				
	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	3 ↓	4 ↑	4 →	7 ↑	11 ↑	23 ↑	10	6	5	2
咽頭結膜熱	1 ↓	4 ↑	11 ↑	5 ↓	5 →	12 ↑	2	0	9	1
A群溶血性連鎖球菌	9 ↓	15 ↑	8 ↓	15 ↑	13 ↓	29 ↑	10	10	5	4
感染性胃腸炎	69 ↓	46 ↓	50 ↑	69 ↑	75 ↑	101 ↑	52	17	25	7
水痘	11 ↑	4 ↓	13 ↑	7 ↓	14 ↑	5 ↓	1	2	2	0
手足口病	5 ↓	2 ↓	1 ↓	3 ↑	3 →	2 ↓	0	0	2	0
伝染性紅斑	0 ↓	4 ↑	1 ↓	0 ↓	1 ↑	0 ↓	0	0	0	0
突発性発疹	4 ↓	3 ↓	6 ↑	11 ↑	11 →	14 ↑	1	5	2	6
百日咳	1 ↓	1 →	1 →	0 ↓	1 ↑	0 ↓	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	52 ↓	16 ↓	25 ↑	14 ↓	12 ↓	7 ↓	2	0	5	0
流行性耳下腺炎	14 ↑	8 ↓	4 ↓	8 ↑	9 ↑	18 ↑	5	8	4	1
インフルエンザ	0 →	0 →	0 →	3 ↑	0 ↓	1 ↑	1	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1 ↓	6 ↑	3 ↓	10 ↑	7 ↓	12 ↑	0	7	3	2
その他	0 ↓	1 ↑	5 ↑	6 ↑	5 ↓	2 ↓	0	0	2	0

第37週疾患毎発生状況表

第37週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	連鎖球菌	A群溶血性 感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
～11ヶ月	9	1	0	13	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
1歳	6	1	1	22	0	1	0	7	0	2	1	0	1	2
2歳	2	3	0	15	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0
3歳	2	4	4	6	2	0	0	1	0	1	9	0	0	0
4歳	0	0	6	10	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
5歳	0	0	5	12	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0
6歳	0	2	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7歳	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0
8歳	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0
9歳	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
10～14歳	0	1	4	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	12	29	101	5	2	0	14	0	7	18	1	12	2

第37週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所